

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



したがわない  
もの  
わか者たち



ぶん  
文: Edward Hughes

え  
絵: Jonathan Hay

かいさくしゃ  
改作者: Mary-Anne S.

ほんやくしゃ  
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ  
出版社: Bible for Children  
[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2010 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし  
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、  
また きよか  
又はプリントは、許可されています。



おう

ネブカドネツアル王は、

おお おお きん ぞう

大きな大きな金の像をつくりましたよ。

それは、あたまのてっぺんから、

あし さき きん

足のつま先まで金だらけ。

おう

たぶん王さまは、

なか かみ

ゆめの中の神さまのことばを、

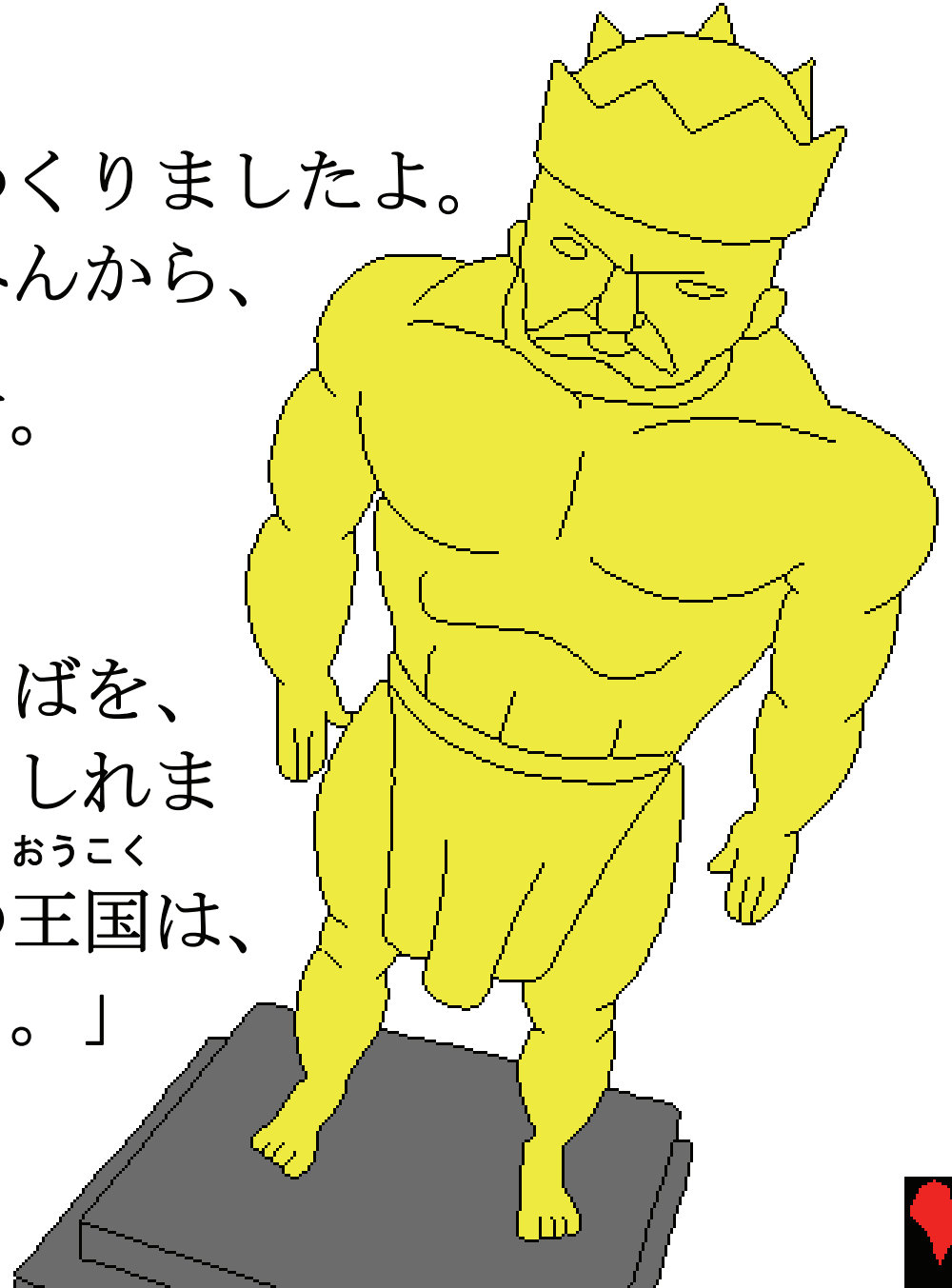
わすれてしまったのかもしれないま

かみ

きん おうこく

せん。神さまは、「金の王国は、

ながくつづかないだろう。」



って、言われたのでしたね。

それとも、王さまは、

おも

こう思ったのかな？もし、

きん

ぞう

金ばかりでつくった像なら、

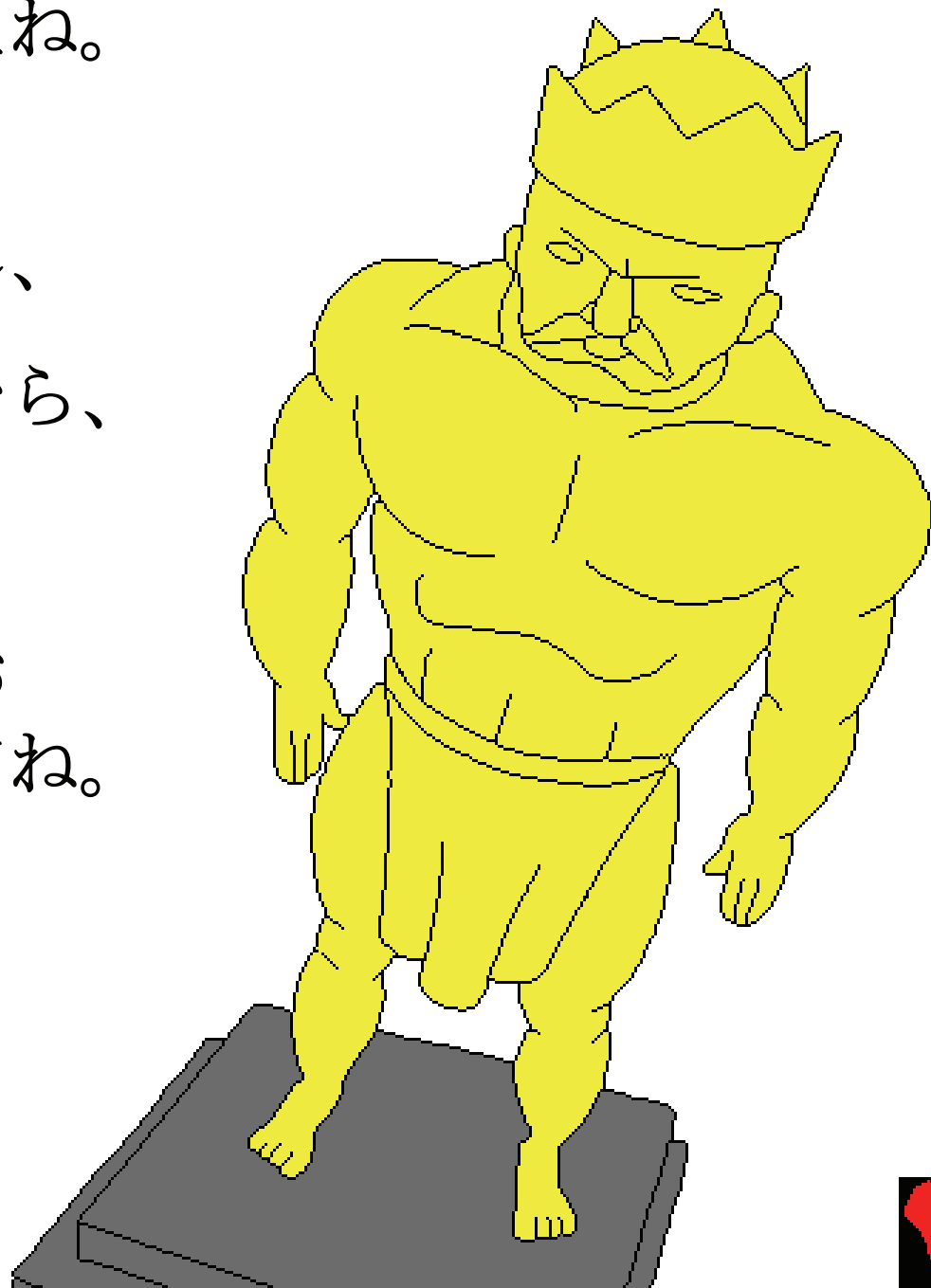
かみ

神さまが、

なか い

ゆめの中で言われたとお

りにならないだろうってね。



あるとき、王さまの召しつかいが、

くに ひとびと

この国の人々に、

おう

こんな王さまのめいれいを、  
よみあげました。

「・・・みんな、

きん ぞう

金の像にひれふして、

れいはい

礼拝するように・・・。



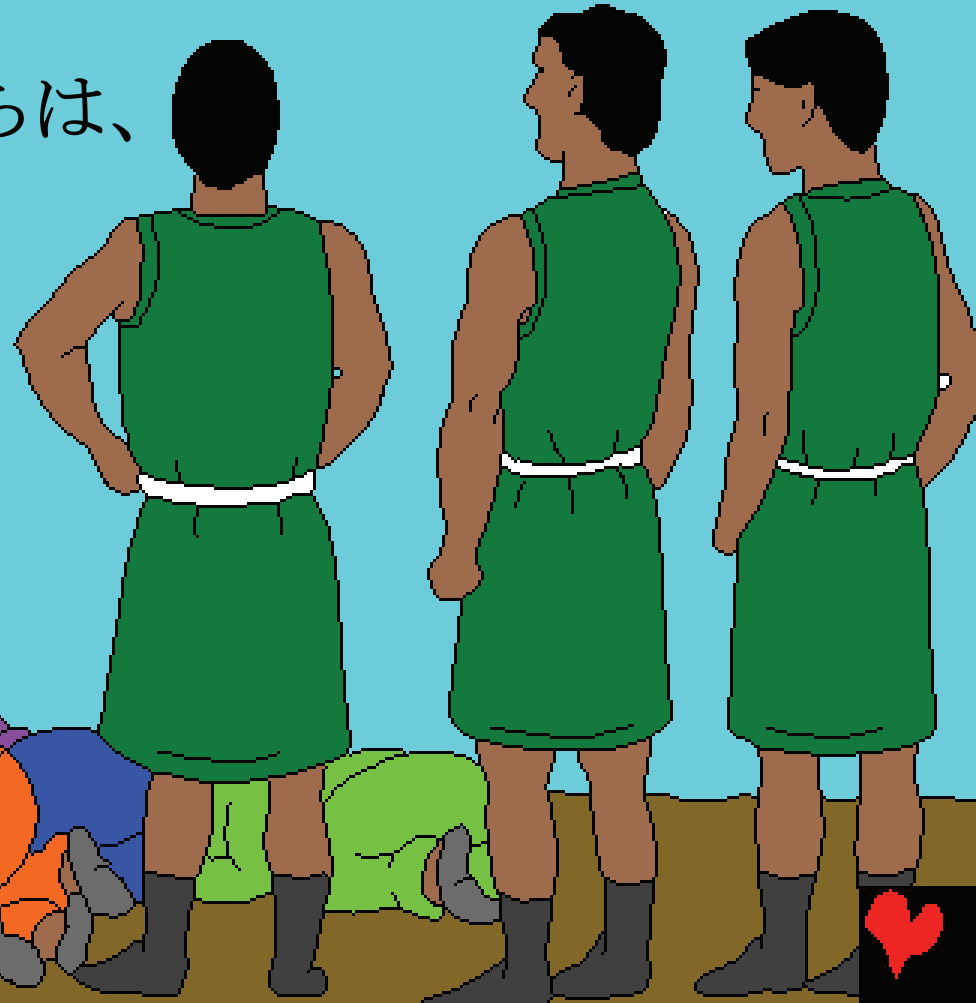
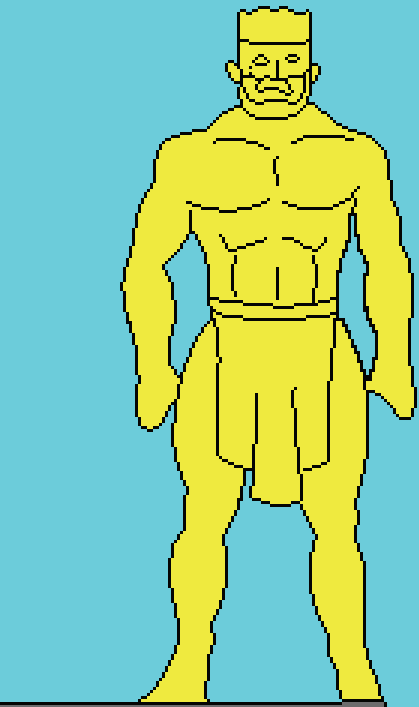
おが  
ひれふして、<sup>おが</sup> 拝まないものはだれでも、  
<sup>ひ</sup> 火がぼうぼうと燃えているかまどの中に、<sup>も</sup> <sup>なか</sup>  
なげこまれてしまうだろう。」



もちろん、みんなは、王さまのめいれいに、  
したがいましたよ。いえ、いえ、言われたとおりにし

ない3人のわか者たちがいるようです。

このわか者たちは、  
ヘブライ人。



とも

かれらは、ダニエルの友だちで、シャドラク、メシヤク、そしてアベドネコたちでした。どうやら、そのときダニエルは、そこにいなかったようですね。

でも、もしダニエルがそこにいたら、

けっ

かれも決して、

ひと

人がつくったぐ

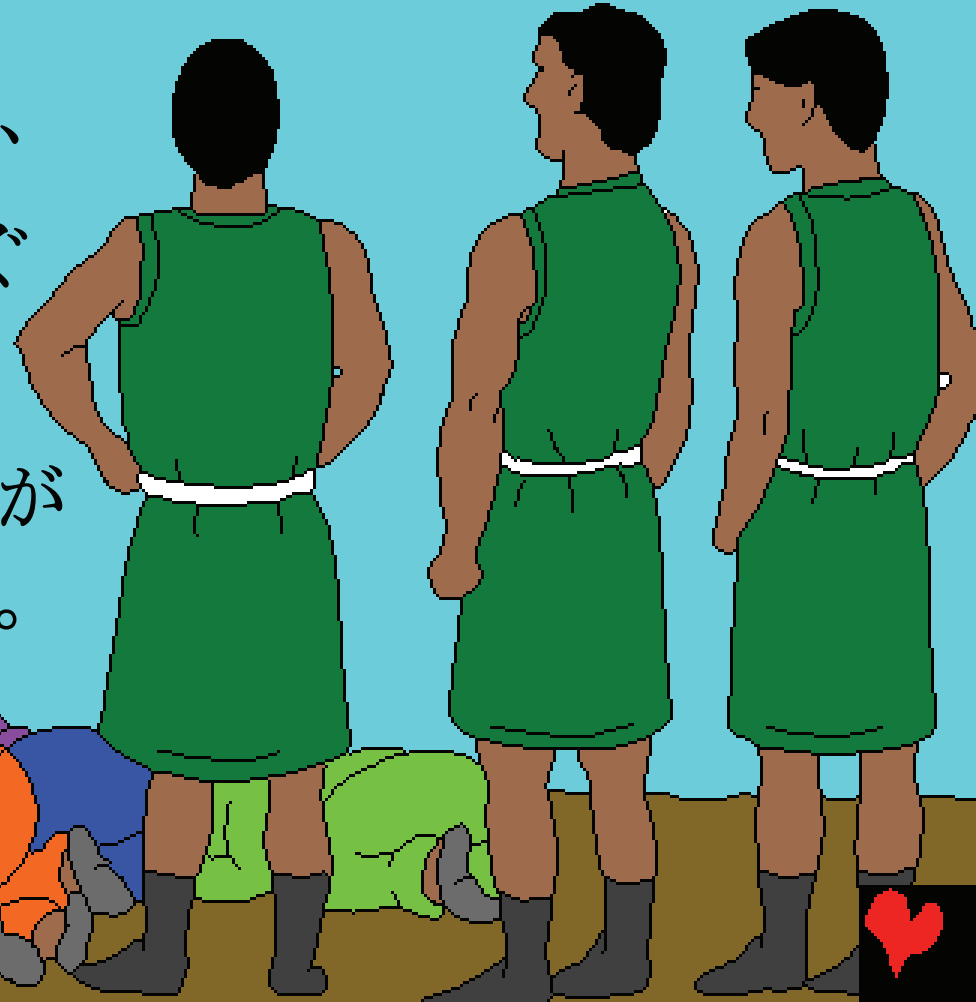
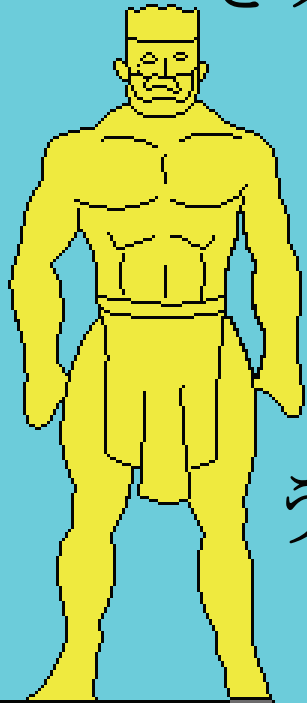
ぞう

れいはい

う像には、礼拝

しなかったにちが

いありません。





おう つか とも  
王さまに仕えるはかせたちは、ダニエルとかれの友だ

ちを、<sup>おも</sup>うらやましく思いました。<sup>おう</sup>なぜなら、王さまは

<sup>にん</sup>3人のわか者を、<sup>もの</sup>とても<sup>き</sup>気に入って<sup>い</sup>いたからです。

そこで、はかせたちは、<sup>おう</sup>王さまに<sup>い</sup>言いました。

<sup>おう</sup>「王さまは、<sup>ちほう</sup>バビロンの地方  
を、<sup>にん</sup>しはいする<sup>もの</sup>ように、

<sup>にん</sup>3人のわか者を  
<sup>もの</sup>おかれました。



シャドラクと、メシャクと、アベドネゴです。

おう

もの

でも王さま、これらのわか者は、

おう

王さまのめいれいに、したがっていません。

おう

かみ

つか

かれらは、王さまの神さまに仕えないし、

おう

きん

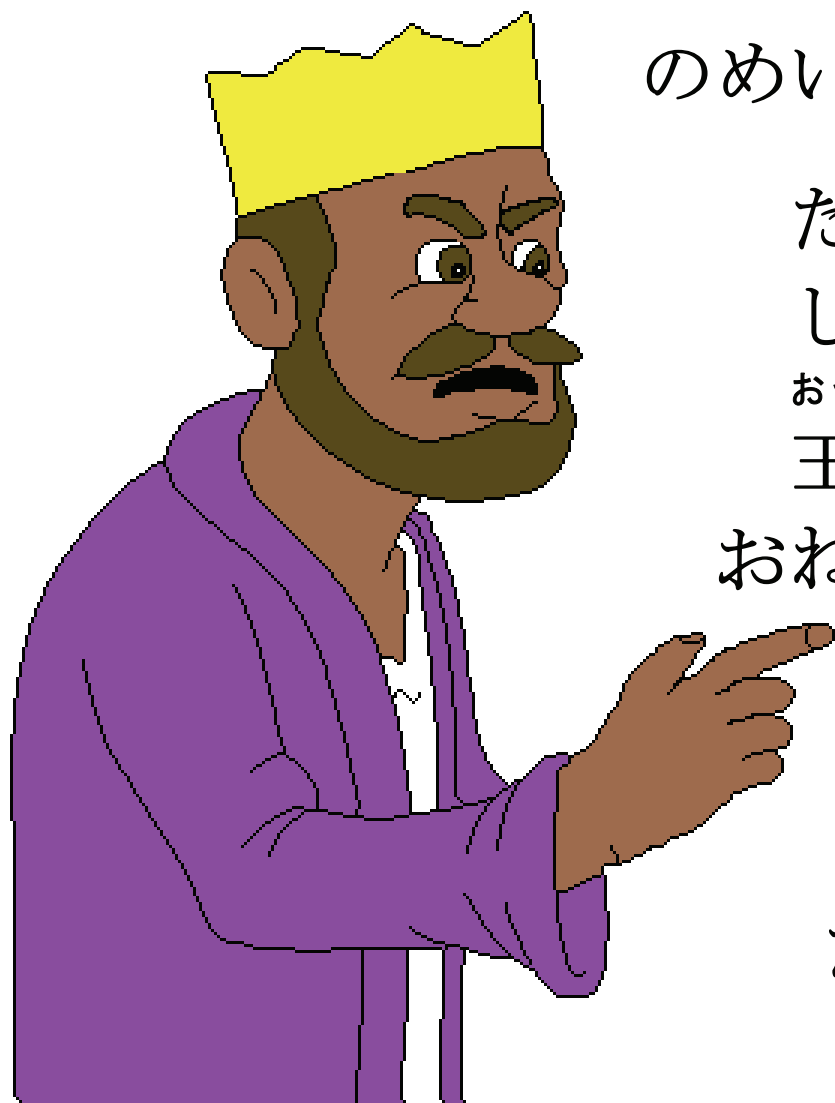
ぞう

王さまがおかれた金の像も、

おがまないのです。」



ネブカドネツアル王は、これらのわか者を、  
罰したくありません。でも、まえに王さまは、自分



のめいれいにしたがわな<sup>もの</sup>い者は、  
だれでも罰せられると言<sup>ばっ</sup>って  
しまったのですね。そこで、  
王さまは、3人のわか者<sup>い</sup>に、  
おねがい<sup>おう</sup>すること<sup>にん</sup>に<sup>しゃ</sup>しました。  
「あなたがたの考<sup>かんが</sup>え<sup>か</sup>を変<sup>か</sup>  
えて、王のめいれいにし<sup>おう</sup>  
たがってください。」



とね。そして、こう言いました。「もし、金の像をお  
がまないなら、あなたがたは、

もえさかる火のなかに、  
なげこまれてしまうのだよ。

そのとき、どの神が、あなたが  
たをすくってくださるのか。

あなたたちは、わたしの思うよ  
うにされてしまうのだ。」



ここで、王さまは、大きなまちがいをしてしまったの  
です。だって、かれは、ほんとうに生きていらっしや  
る神さまに、ちょう戦しようとしたのですから。

3人のヘブライのわか者たちは、

像をおがむことが、  
神さまのおきてに、  
そむくことだ

って、わかって  
いました。



だから、かれらは像のまえで、<sup>ぞう</sup>立<sup>た</sup>ったまま。

<sup>けっ</sup>決しておじぎはしませんよ。どうしてって、

<sup>もの</sup>わか者たちは、<sup>かみ</sup>神さまを<sup>しん</sup>信じていたからです。

<sup>おう</sup>王さまなんて、こわくないのです。



にん ゆう

もの

おう

さあ、これら3人の勇かなわか者たちは、王さまの

罰を、うけることになりました。かれらは、こう言っ

おう

かみ

たからです。「王さま、わたしたちの神さまは、もの

ほのお も

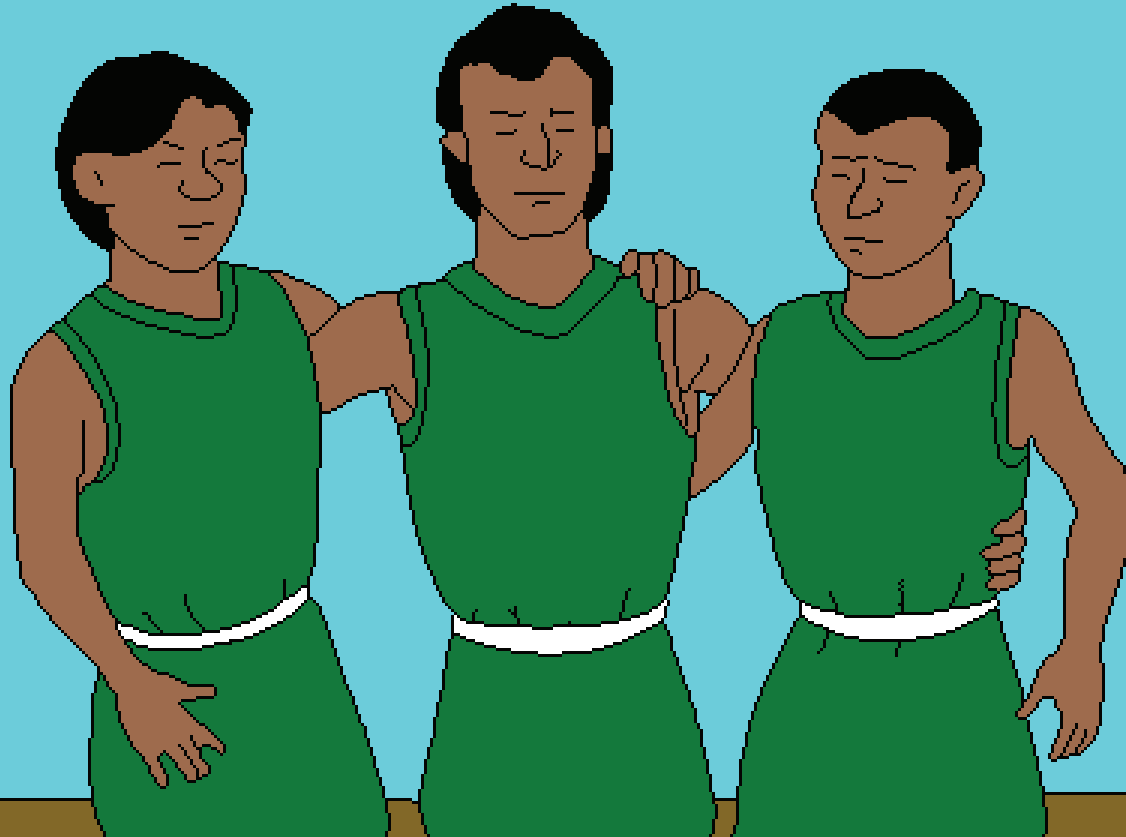
すごい炎が燃えあがっているかまどから、わたしたち

を、すくい

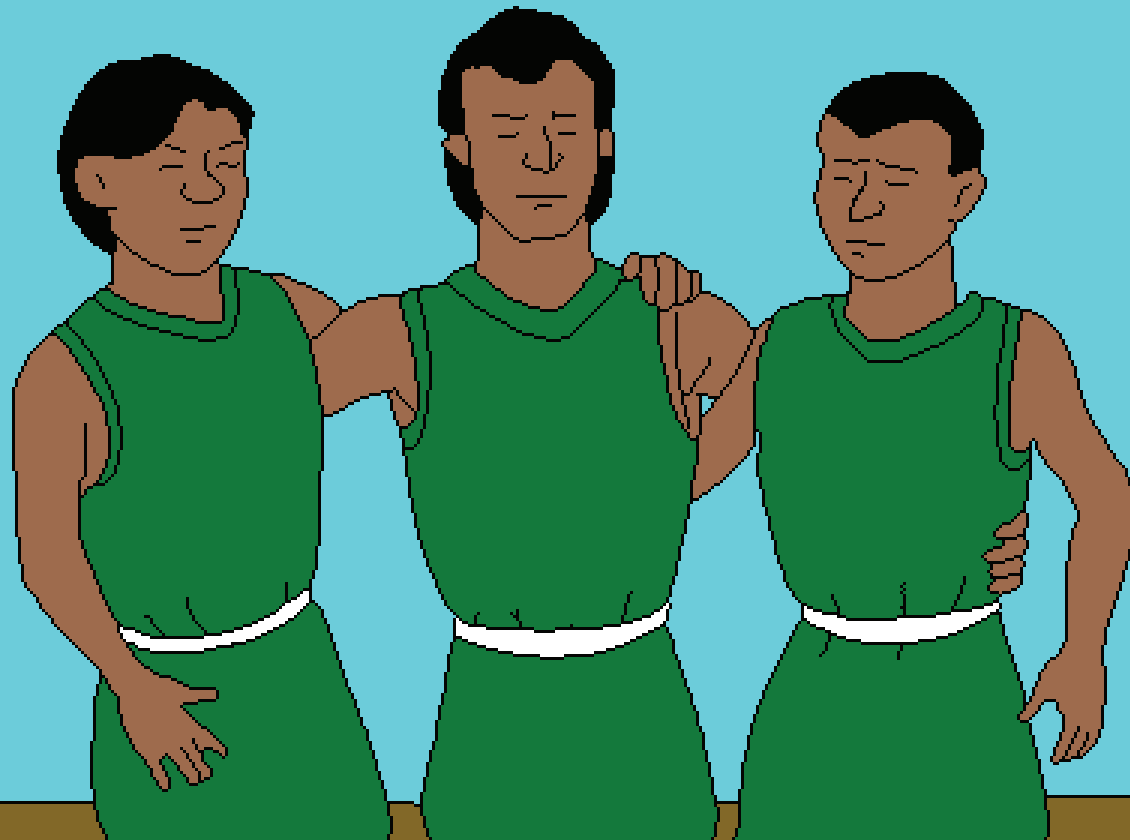
だ

出してくだ

さいます。



だ  
た  
と  
え、  
す  
く  
い  
出  
さ  
れ  
な  
か  
つ  
た  
と  
し  
て  
も、  
王  
さ  
ま  
に  
こ  
の  
こ  
と  
は、  
わ  
か  
つ  
て  
い  
た  
だ  
き  
た  
い  
の  
で  
す。  
わ  
た  
し  
た  
ち  
は、  
王  
さ  
ま  
の  
神  
さ  
ま  
た  
ち  
に、  
仕  
え  
な  
い  
し、  
王  
さ  
ま  
が、  
つ  
く  
ら  
れ  
た  
金  
の  
像  
を  
も、  
お  
が  
ま  
な  
い  
で  
し  
よ  
う。





ネブカドネツアル

おう いか

王の怒りようったら、  
もう大変！すぐに、  
こうめいれいしました。

なか

「かまどの中を、

あつ

もっともっと熱くして、

ばい

いつもの7倍にするんだ！」

けれども、かれらは、

た

やっぱり立ったまま。

ひざまずこうとさ

えしません。



おう ぐん おとこ  
王さまは、かれの軍たいにいる 男たちの  
なか つよ しゃ  
中で、とくべつ強 い者たちにめい  
れいしました。「シャドラク、  
メシヤク、  
アベドネゴを、

しぼりあげ、

も  
ぼうぼうと燃えているかまど  
なか い  
の中に、なげ入れるのだ！」



なか  
ところが、かまどの中は、あまりにあつく  
も  
燃えていたので、シャドラク、  
メシヤクとアベドネゴを、

おとこ  
なげこんだ男たちは、  
ほのお  
その炎でやきころされ  
てしまいました。



おう

あんぜん

王さまは、かまどからはなれた安全なところで、

み

にん

もの

そのようすを、見ていました。3人のわか者が、

か も

ほのお

なか

ちょうどまっ赤に燃えさかっている炎の中に、

なげこまれるところをね。でもね、

おう

み

王さまが見たのは、

それだけじゃ

なかったん

ですよ。



ネブカドネツアル王は、<sup>おう</sup>びっくりしましたよ！「われ

われは、<sup>にん</sup> 3人のわか者たちを、<sup>もの</sup>  
あついあついかまどの

<sup>なか</sup>中に、なげこんだんじ  
やなかったのか。」

<sup>おう</sup>王さまは、

<sup>つか</sup>めし使いたちに、  
たずねました。



「はい、王さま、そのとおりでございます。」  
かれらは、こうこたえました。

「ほら、よくよく見るの  
だ！わたしは、

4人のわか者が、  
燃えさかる火の中

を、じゆうに歩  
きまわっている

のが、見える。



まるつきりケガもしていないじゃないか。しかも、

にんめ

もの

かみ

4人目のわか者は、まるで神さ

こ

まのむす子のようなだ。

ああ、いったい、

これはどういうこ

とだ！」



そこで、王<sup>おう</sup>さまは、燃<sup>も</sup>えさかるかまどの

ドア<sup>ちか</sup>に近づいて、大<sup>おお</sup>声<sup>ごえ</sup>でさけびました。

「お<sup>お</sup>うい、シヤ<sup>シヤ</sup>ドラク、  
メ<sup>メ</sup>シヤクにア<sup>ア</sup>ベドナゴ、

いと高<sup>たか</sup>き神<sup>かみ</sup>につ  
かえるしもべ  
たちよ！





で  
出てくるのだ！」そこで、シャドラク、  
メシャクとアベドナゴは、そのあ

なか

ついあつかまどの中から、

で  
出てきました。



ひ なか も

ええっ！火の中で燃えなかったって、ほんとう？みんな

にん もの

なは、ヘブライの3人のわか者のまわりに、あつまっ

ひとびと

ひ

てきましたよ。そして、人々は、そのつよい火が、

もの

ちから

まったくわか者たちを、やきころす力がなかったことが、わかりました。



なぜって、

かれらのかみの毛は、まったくこげていないし、  
服もやけていないからです。かれらに、近よっても、  
火のおいさえ、しないのです。



いま、なにがおこったのか、ネブカドネツアル王は、  
よくよくわかりました。そのとき、王さまは、  
なにをしたのでしょうか。とても正しいこ  
とをしましたよ。





もの  
したがわな<sup>い</sup>わか<sup>者</sup>たち

かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

ダニエル 3<sup>しょう</sup> 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまに  
かみ かみ  
ついて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことを  
おも  
しってほしいと、思っています。

かみ わたし  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しってい  
かみ つみ つみ  
らっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪の  
し かみ あい  
むくい、死です。けれども、神さまは、あなたをととても愛してい  
ひとり こ よ おく  
らっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送って  
つみ じゅうじかじょう な  
くださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられ  
てんごく  
たのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のい  
しん  
えへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆる  
してくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてください  
いま ところ き なか  
ます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に  
す い  
住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生  
きるができますよ。





もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言っ  
てください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人とな  
り、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみ  
がえって、いま生きて

いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるして  
ください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そし  
て、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにい  
ることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子とし  
て生きることが出来ますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによ

る福音書 3 : 16

